

あみの一也は
動きます!

物価高騰、

PFAS汚染から市民を守り、 ジェンダー平等、平和な国立へ 5大公約の実現を **日本共産党**

1 小中学校給食費は保護者負担ゼロへ

安心して給食を食べられるようにすることは政治の責任。学校給食費の無償化は全国・都内で大きな流れになっています。国立市の学校給食費は年間(11ヶ月)41,300円から53,900円。日本共産党は負担軽減を求め続けており、昨年12月議会で無償化を市に求めました。党都議団とともに東京都へも申し入れました。

■市独自の奨学金制度を

学生の学ぶ権利を保障するため、返済なしの奨学金制度(市独自)を創設させます。



都への申し入れ(22年11月7日)

2 PFAS汚染から水の安全を守る

発がん性のある有機フッ素化合物(PFAS)による地下水汚染が広がっています。日本の暫定基準値は50ng/l(ナノグラム/リットル)。国立市中浄水所では2021年4月に原水で170ng/l、浄水で53ng/lとなっていたため、井戸水の取水を中止。日本共産党は、東京都や国、市に対し実態調査と原因究明、対策を求めて奮闘中です。

PFASとは? 有機フッ素化合物の総称。自然界での分解が困難。高コレステロール、甲状腺疾患、癌などの人への有害性が判明。現在では日本での製造・使用・輸入が禁止されている。

■太陽光発電など再生可能エネルギー購入補助、省エネ家電への補助の継続など、気候危機打開へ市の支援強化を



PFAS 市への申し入れ(23年2月20日)



都への申し入れ(23年2月3日)

3 性被害、包括的性教育、生理用品の無償配布拡大へ

痴漢や盗撮など性被害から市民を守る対策を強化させます。小中学校で、人権の観点を含む包括的に性を大切にする教育の機会をつくります。リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ジェンダー平等の施策を推進します。

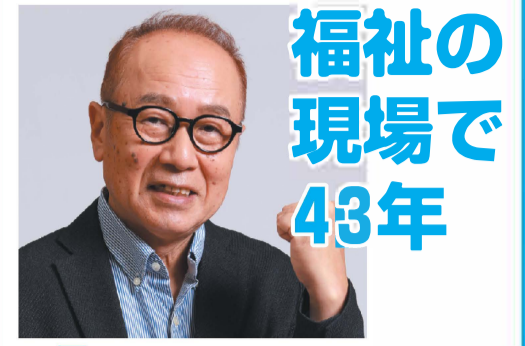
4 高齢者・しょうがいしゃの支援拡充へ!

高齢者も、しょうがいのある人も、家族も、安心して生きていける国立市に。他自治体で開始されている補聴器購入助成制度を実現させます。家族介護を支える仕組みをつくります。

- 24時間介護の支援拡充(深夜早朝介護を含めた)
- 家族介護(ケアラー)を支える仕組みづくり
- 補聴器購入助成制度の創設(認知症予防としても有効的な補聴器)

5 平和の声を国立から

- 墜落事故が多い「オスプレイ」の自衛隊立川基地への飛来・訓練を中止
- 憲法9条に基づく平和外交を、核兵器禁止条約に政府は参加を、の声を国立から



福祉の現場で
43年

あみの一也

新人

◆プロフィール◆

神奈川県横浜市生まれ 横浜市立南高等学校卒業後、しょうがい者施設で43年勤務。施設長を経験。現在、共産党国立市議団事務局員 趣味：家庭料理づくり、旅行



amino.jcp@gmail.com
【連絡先】042-507-6807

日本共産党の新しい力、あみの一也を市政の場へ

